

和歌山県の海外販路開拓調査に同行して ～ 2つの生地の見本市～ 「プルミエール・ヴィジョン」 & 「テックスワールド」

パリ事務所

1 はじめに

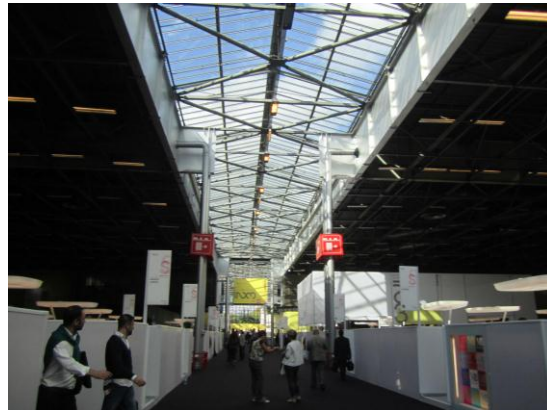
和歌山県企業振興課及び和歌山ニット工業組合の皆さんが、昨年9月20日～22日の3日間パリ郊外で開催された世界的な生地の見本市の現地調査を実施されました。

和歌山ニット工業組合は、今年度、近畿経済産業局「JAPAN ブランド戦略策定事業」に採択され、海外販路開拓の戦略策定を行っており、その一環として今回の調査を企画されたものです。

同時期にパリで開催された観光見本市「TOP RESA」に和歌山県（観光交流課）が出展していたことから、和歌山県の海外戦略に対する積極的な取り組みの姿勢が窺えます。

2 プルミエール・ヴィジョン¹ (Premiere Vision ※以下 PV)

主催者はPV社で、東京のKei&Co社が日本の窓口となっています。出展するためには選考委員会が行う厳しい審査を通らねばならず、この見本市に出展していることが業界では一種のステータスとなっています。



今回は714社が出展、うちイタリアが半数以上に当たる386社を占め、日本からは33社（昨年27社）が参加していました。バイヤーは、新しい素材を求め半数以上が海外から来場します。

～プルミエール・ヴィジョン会場内～
承諾を得たブース以外での写真撮影は禁止されている。
各ブースは壁で仕切られ、隣のブースの様子も見えない

入場券²を購入して入場しても、出展各社の事前了解がないとブースには入れません。つまり、一般入場者を対象にしているのではなく、既に事前予約しているバイヤーが、実際に生地を見て買い付けを行うという性質の見本市です。そのため、やや閉鎖的な印象を受

¹ 1973年から始まった世界最大級といわれる服飾生地の総合国際見本市。2月と9月の年2回シヤルル・ド・ゴール空港近くの「パリ・ノール見本市会場」で開催される。

² 前売券37ユーロ、当日券49ユーロ

けましたが、見本市の最終日に視察したためか、一見客でも見学させてくれるブースもありました。

今回、和歌山県内ニット生産業者にとって、海外販路開拓の先駆者としてパリで活躍している日系企業のブースを訪問し、社長にお話を伺うことができました。3日間で約200件の商談をこなすとのこと、数々の難関を乗り越え、何年もかけてPVに出展し続け現在に至った苦労や成果を教えてくださいました。契約リストの中には、私でも知っている有名ブランドの名前がありました。

中央の共有展示スペースでは、新しい素材生地を自由に見ることができます。

ここで来々シーズンの流行色が提案されるため、世界中のデザイナーが注目しています。つまり世界のファッション界の流行カラーを作り出しているのがこの見本市だと言えます。写真撮影が禁止されているため、掲示板に記載された流行色をノートに書き写す人々がたくさんいました。

3 テックス ワールド³

参加している企業は圧倒的に中国企業が多く、トルコやタイ、インドの企業も目立ちました。

日本からは、日本絹業協会が会員から希望者を募り6社で出展していました。協会が出展料、共同パンフレット作成費及び通訳費などを負担し、各社は社員の旅費と輸送費を負担しているそうです。「展示会は、1～2年目は成果が出づらい。このテックスワールドに出展して来場者のニーズを勉強し、ここを足掛かりとしてPVに出展するケースが多い」とのお話でした。

アジア企業のブースでは、1メートルあたり一桁代の価格(ユーロ)がついており、価格面では到底太刀打ちできないのではないかと考えられました。訪問団の皆さんは、専門的な目で生地の素材、製法、価格等を確認し、「トルコのブースは値段の割にレベルの高い生地をだしている社が多い」と判断されていました。プルミエール・ヴィジョンが1級品で、テックスワールドが2級品という図式が必ずしも成り立つわけではないようです。



～テックスワールド会場内～
糸や生地を見る目は真剣そのもの！

³ プルミエール・ヴィジョンに合わせ、年2回パリ・ノール見本市会場南の「ル・ブルジェ見本市会場」で開催されている生地、繊維の見本市。主催者は Messe Frankfurt France S.A.S.。27カ国から828社が出展、入場者は約15,500人。入場料は無料(但し事前登録必要)。

4 ジェトロパリ訪問及び市場調査

ジェトロパリを訪問し、対外関係担当者からヨーロッパで行われる見本市の様子、フランスでの販路開拓について説明を受けました。また、和歌山県の取組みについての意見交換を行いました。

市場調査として、デパート、ブランドショップ、セレクトショップ及びニット衣料品店等を訪問し、日本との品揃えや価格比較、展示方法の違い等の調査を行いました。



販路開拓についてレクチャーを受ける訪問団の皆さん～ジェトロパリにて～

5 おわりに

訪問団の皆さんは、出展目標としている見本市の雰囲気等を確認したことにより、海外販路開拓に向けた目標を定めることができましたようです。また、出展している経営者の生の声を現地で聞き、刺激になったとのこと。訪問団の方々は、食事中でさえ今後の方針についてアイデアを出し合う等積極的に意見交換を行っており、品質重視のモノづくりをしていきたいという、その熱い想いが伝わってきました。アジアの勢いに負けることなく、地域産業を守っていこうとする和歌山県の若手経営者たちの誇りと力強い姿勢を頼もしく感じました。

派遣元が「いと」関連である私自身も、地元業者の絹製品の海外販路開拓が検討されていることもあり、アパレル業界、国の補助事業及び海外販路開拓の方法等を一緒に勉強させていただき、大変有意義な活動支援となりました。

(稲塚所長補佐 群馬県富岡市派遣)

【見本市主催者等の公式サイト】

◎PV: <http://www.premierevision.com/>

◎Kei and Co.Ltd.: <http://www.keiandco.com/>

◎テックスワールド

<http://texworld.messefrankfurt.com/paris/en/visitors/welcome.html>

◎社団法人 日本絹業協会 <http://www.silk-center.or.jp/>

◎PARIS REGION TRADE SHOWS (パリ・イルドフランス地方の見本市促進機関)

http://www.parisregion-tradeshows.com/index.php4?coe_i_id=2&flag